

4 電子納品のあらまし

(1) 電子納品とは

コンピュータを使用して発注者に納品する成果品（工事・業務の文書）を作成し、その成果（電子データ）を決められた形式で納めること。

(2) 電子納品要領の選択

「あいち建設情報共有システム」をお申込みいただくときの「適用する電子納品要領」は、必ず監督員に事前協議で確認したものを選択してください。（事前協議を実施してからお申込みください。）

(3) 愛知県と国の基準の関係

愛知県電子納品運用ガイドライン(R8.3)は、国の基準を準用しています。納品物を作成する際、愛知県のガイドラインに記載のない事項は以下の基準を参照してください。

策定機関	分類		ガイドライン、要領・基準等の名称（ ）内は改訂年月
愛知県	全般		愛知県電子納品運用ガイドライン（R8.3）
			愛知県デジタル写真管理情報基準(案)（R6.12）
			愛知県オンライン電子納品実施要領（R8.3）
国土交通省	土木	測量	測量成果電子納品要領（R6.3）
			電子納品運用ガイドライン〔測量編〕（R6.3）
		地質調査	地質・土質調査成果電子納品要領(H28.10)
			電子納品運用ガイドライン〔地質・土質調査編〕（H30.3）
		設計	土木設計業務等の電子納品要領（R6.3）
		工事	工事完成図書の電子納品等要領（R5.3）
		全般	CAD製図基準（H29.3）
			CAD製図基準に関する運用ガイドライン（H29.3）
	建築	設計	建築設計業務等電子納品要領（R3.3.26）
			官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】（R4.3.25）
		工事	営繕工事電子納品要領（R3.3.26）
			官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（R4.3.25）
	港湾空港	設計	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【業務編】（R7.3）
		工事	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【工事編】（R7.3）
		全般	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【資料編】（R7.3）
	電気通信設備	設計	土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編（R6.3）
		工事	工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編（R5.3）
		全般	CAD製図基準 電気通信設備編（H29.3）
			CAD製図基準に関する運用ガイドライン【電気通信設備編】（H29.3）
	機械設備	設計	土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編（R6.3）
		工事	工事完成図書の電子納品要領 機械設備工事編（R5.3）
		全般	CAD製図基準 機械設備工事編（H29.3）
			CAD製図基準に関する運用ガイドライン【機械設備工事編】（H29.3）
農林水産省	農林	測量	測量成果電子納品要領(案)（R2.3）
		地質調査	地質・土質調査成果電子納品要領(案)（R2.3）
		設計	設計業務等の電子納品要領(案)（R2.3）
			設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編（R2.3）
			設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編（H31.3）
			設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編（H31.3）
		工事	工事完成図書の電子納品要領(案)（H31.3）
			工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編（H31.3）
			工事完成図書の電子納品要領(案) 機械設備工事編（H31.3）
		全般	電子化図面データの作成要領(案)（H31.3）
			電子化図面データの作成要領(案) 電気通信設備編（H31.3）
			電子化図面データの作成要領(案) 機械設備工事編（H31.3）
			電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)（H31.3）
			電子化図面データ作成運用ガイドライン(案) 電気通信設備編（H31.3）
			電子化図面データ作成運用ガイドライン(案) 機械設備工事編（H31.3）

愛知県デジタル写真管理情報基準(案) (R2.3 (R6.12 一部改訂)) は、国の基準を準用しています。納品物を作成する際、愛知県の写真管理情報基準に記載のない事項は以下の基準を参照してください。

発注機関	選択する電子納品要領
土木（建設局及び都市・交通局） 建築（建築局） 企業庁	国土交通省デジタル写真管理情報基準（R5.3）
農林（農業水産局及び農林基盤局）	農林水産省電子化写真データの作成要領(案)（H31.3）

・建築（営繕）工事に関する留意事項

国土交通省「建築設計業務等電子納品要領」及び「営繕工事電子納品要領」では、電子成果品とは別の電子媒体で写真を納品すると定められていますが、愛知県では電子成果品に含めて納品することとされていますので、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」が準用されます。

営繕工事電子納品要領を適用する案件においては情報共有システムに写真用のフォルダがないため、別途、納品となります。「[愛知県建築局発注工事における情報共有システム運用の手引き（案）](#)」では、CD-R 又は DVD-R で提出することとされていますが、詳細は監督員の方にご確認ください。

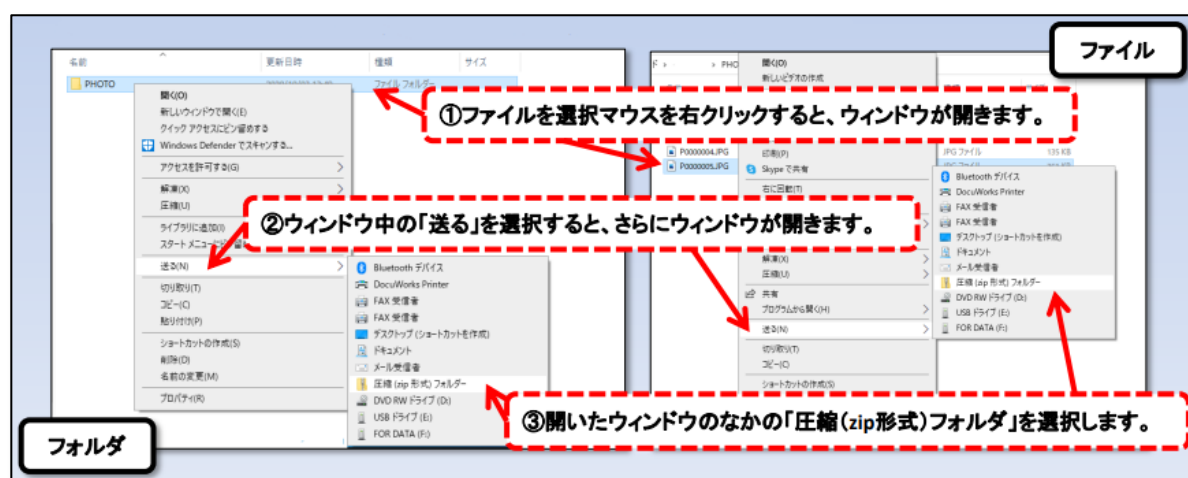
（４）電子納品として使用できるデータ

・電子納品で使用されるファイル形式

成果品種別	ファイル名の例
工事打合せ簿等	添付資料として Abc.docx（WORD 文書） abc.xlsx（EXCEL 文書） abc.pdf（PDF 文書） abc.dwg（AutoCAD 図面） abc.zip など
工事完成図	abc.SFC（工事完成図フォルダ）
工事写真	写真用：0001.JPG 0001.JPEG 参考図用：0001.TIF 0001.TIFF

・電子納品と圧縮ファイル

あいち建設情報共有システムで市販のソフトウェア（アプリ）で作成した電子納品データを一括登録するには、当該データを圧縮して zip ファイルを作成していただくことが必要で、作成方法は、以下のとおりです。



・電子納品の構成

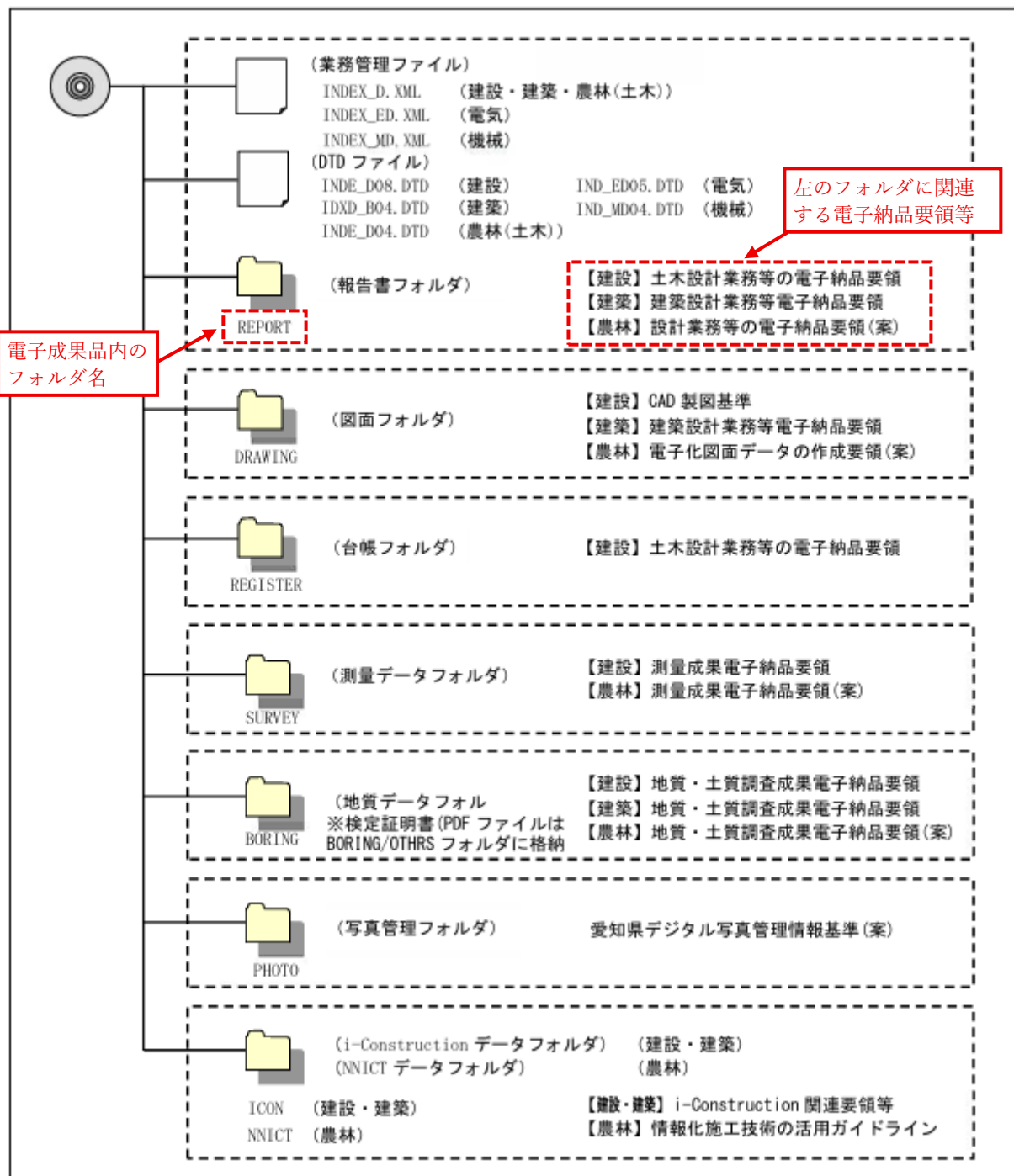
電子納品は、管理ファイルやフォルダ構成が決められています。

大枠では国のガイドラインに準拠していますが、異なる定めもありますので発注者が公表しているガイドラインを確認しておく必要があります。

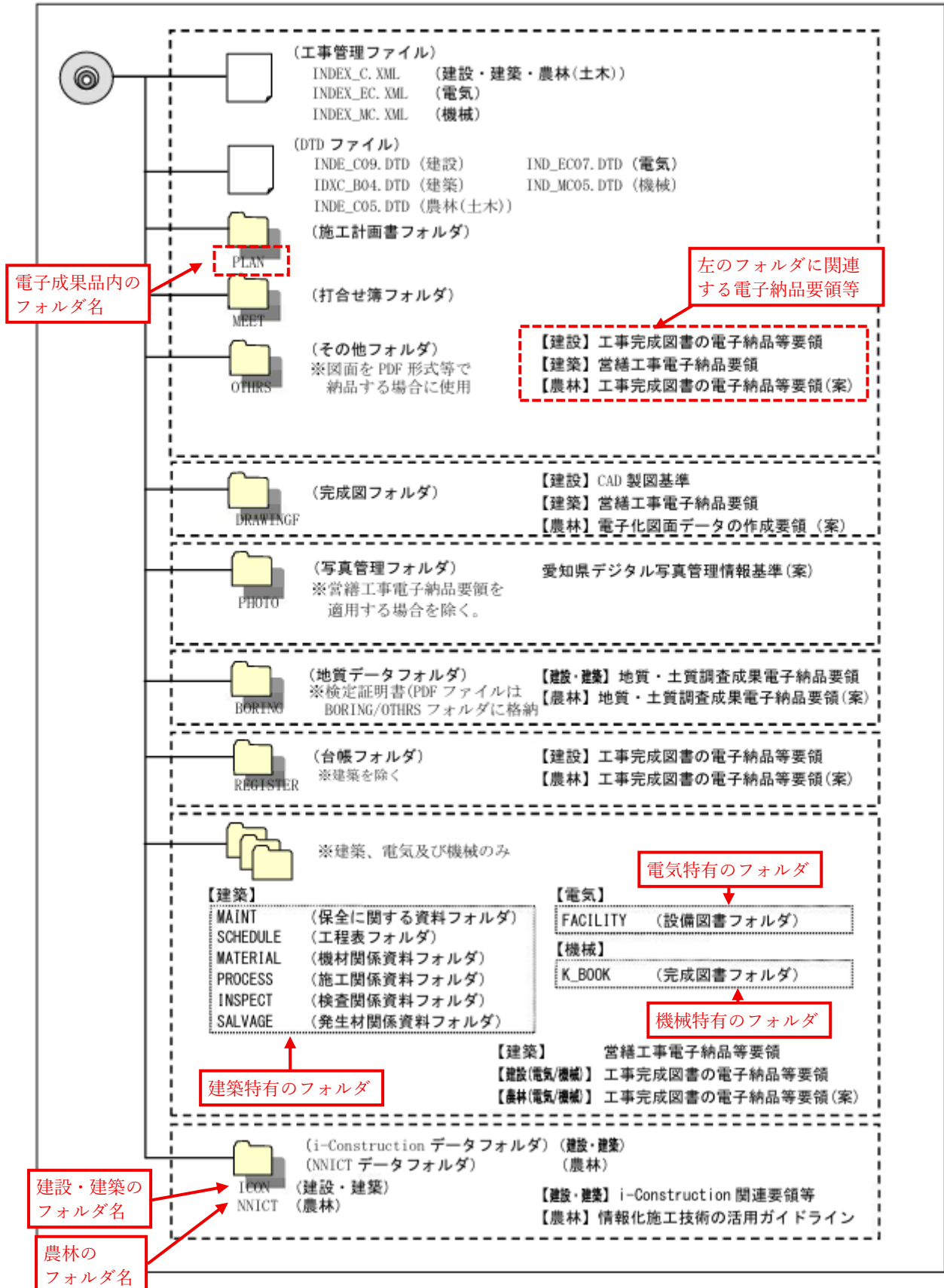
以下に「愛知県電子納品運用ガイドライン」から、電子納品のフォルダ構成を示します。

フォルダの最上位（「ルート」といいます。）に「.XML」、「.DTD」などの管理ファイルが配置され、その下にフォルダが配置されています。これらのファイルは、個々のデータの属性（目次など）を示すファイルです。

設計業務等のフォルダ構成



工事完成図書のフォルダ構成



- ・管理情報（電子納品データの管理ファイル）

「.XML」、「.DTD」のファイルの内容を以下に示します。

これらのファイルは、あいち建設情報共有システム又は市販のソフトウェア（アプリ）を使用して作成できますので、ここでは、納品情報はこのような形式で書かれているファイルであるということをご覧いただければ結構です。

このほかに「.XSL」というファイルがありますが、ガイドラインには規定されていないので解説を省略します。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO05.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO05.XSL"?>
<photodata DTD_version="05">

  <基礎情報>
    <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名>
    <参考図フォルダ名></参考図フォルダ名>
    <適用要領基準>土木201603-01</適用要領基準>
  </基礎情報>

  <写真情報>
    <写真ファイル情報>
      <シリアル番号>1</シリアル番号>
      <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
      <メディア番号>1</メディア番号>
    </写真ファイル情報>
    <撮影工程区分>
      <写真-大分類>工事</写真-大分類>
      <写真区分>着手前及び完成写真</写真区分>
      <工程>着手前完了</工程>
      <種別>1区</種別>
      <写真タイトル>着手前</写真タイトル>
    </撮影工程区分>
    <撮影情報>
      <撮影箇所>1区 NO.0</撮影箇所>
      <撮影年月日>2020-06-09</撮影年月日>
    </撮影情報>
    <代表写真>1</代表写真>
    <提出頻度写真>1</提出頻度写真>
  </写真情報>

```

```

<!-- PHOTO05.DTD / 2008/05 -->
<!-- ELEMENT photodata (基礎情報, 写真情報, ソフトメカ用TAG*) -->
<!-- ATTLIST photodata DTD_version CDATA #FIXED "05" -->

<!-- 基礎情報 -->
<!-- ELEMENT 基礎情報 (写真フォルダ名, 参考図フォルダ名, 適用要領基準) -->
  <!-- ELEMENT 写真フォルダ名 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 参考図フォルダ名 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 適用要領基準 (HPCDATA) -->

<!-- 写真情報 -->
<!-- ELEMENT 写真情報 (写真ファイル情報, 撮影工程区分, 付加情報*, 撮影情報) -->
  <!-- ELEMENT 代表写真 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 提出頻度写真 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 施工管理値 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 請負者説明文 (HPCDATA) -->

<!-- 写真ファイル情報 -->
<!-- ELEMENT 写真ファイル情報 (シリアル番号, 写真ファイル名, 写真ファイル) -->
  <!-- ELEMENT シリアル番号 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 写真ファイル名 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT 写真ファイル日本語名 (HPCDATA) -->
  <!-- ELEMENT メディア番号 (HPCDATA) -->

```

PHOTO.XML
 写真データの名称、番号、
 撮影状況等の情報が記述さ
 れています。

PHOTO05.DTD
 PHOTO.XMLの情報の項目を
 定義しています。

- ・電子納品データのフォルダ構成

電子納品のうち、特に問い合わせの多い「DRAWINGF」フォルダ及び「PHOTO」フォルダについて以下に補足します。

CAD製図基準

DRAWING (図面フォルダ)

- DRAWING.XML (図面管理ファイル)
- DRAW04.DTD
- 001D0PLZ-全体平面図.P21 (図面ファイル)
- nnnD0PLZ-△△△.P21

管理ファイル (あいち建設情報共有システムでは「管理情報」で入力すると作成されます。)

図面ファイルは独自の命名規則に則った名前である必要があります

愛知県デジタル写真管理情報基準(案)

PHOTO

- PHOTO.XML (写真管理ファイル)
- PHOTO05.DTD
- PIC (写真フォルダ)
 - P0000001.JPG (写真ファイル nnnnnnnn 個)
 - Pnnnnnnn.JPG
- DRA (参考図フォルダ)
 - D0000001.XXX (参考図ファイル nnnnnnnn 個)
 - Dnnnnnnn.XXX

管理ファイル (あいち建設情報共有システムでは「納品情報」で入力すると作成されます。)

「PHOTO」フォルダの下に「PIC」(必須)、「DRA」(任意)が配置されます。

(5) 電子納品の対象となる成果品

愛知県電子納品運用ガイドラインでは、情報共有システムを利用する業務・工事における電子納品の対象範囲は以下のとおり（黒枠内）とされています。

電子納品の対象範囲（設計業務等）

電子納品対象物		ファイル形式	対象範囲	適用する要領・基準名
報告書※1	報告書	PDF	○	国土交通省 土木設計業務等の電子納品要領 国土交通省 建築設計業務等電子納品要領 農林水産省 設計業務等の電子納品要領(案)
	報告書(オリジナル※2)	オリジナル	△	
写真	写真帳	JPEG	○	愛知県デジタル写真管理情報基準(案)
図面	図面(設計図面)	SXF(sfc 又は sfz) ※3	○	国土交通省 CAD 製図基準 国土交通省 建築設計業務等電子納品要領 農林水産省 電子化図面データの作成要領(案)
測量	測量図面	SXF(sfc 又は sfz) ※3	○	国土交通省 測量成果電子納品要領 農林水産省 測量成果電子納品要領(案)
	測量記録	PDF	○	
	測量成果	TXT(DM 含む)	○	
	その他データ	PDF	○	
地質	ボーリング 柱状図	ボーリングデータ	XML	国土交通省 地質・土質調査成果電子納品要領 農林水産省 地質・土質調査成果電子納品要領(案)
		柱状図	PDF	
		簡略柱状図	SXF(sfc 又は sfz) ※3	
	土質試験及び地盤調査結果		PDF、XML	

(凡例) ○：電子納品対象 △：オリジナル※1 データがある場合、電子納品の対象

(1) 報告書ファイルの仕様

- ①PDF 形式による提出が必須で、**しおり（目次）を付ける**。※付け方は作成ソフトの使い方を参照ください。
- ②PDF ファイルの 1 ファイル当たり容量は 10MB 程度までとし、これを超える場合は文章の構造単位(章ごと、節ごと)で分割します。
- ③用紙サイズは A4 縦を基本とし、A4 横及び A3 横サイズが混在してもよい。
- ④報告書作成にあたってワープロソフト及び表計算ソフトを使用した場合は、報告書オリジナルファイル(.docx、.xlsx ファイルなど)についても必ず納品する。その他のソフトウェアで作成したオリジナルデータも可能な限り電子納品する。また、長期的な見読性を確保するため、機種依存文字(①②、ⅠⅡⅢ、(株)(有)、mm cm kmなど)は、可能な限り使用しないこと。画像データ等の外部参照機能(リンク貼り付け)を用いないこと。
- ⑤スキャニング等によりイメージデータから PDF ファイルを作成する場合は、印刷時に原稿データと同程度の鮮明さが確保できるよう配慮すること。

(2) 電子納品の適用範囲の運用について

電子納品の適用範囲とならない(又は特記仕様書に電子納品についての記載がない)項目についても、受注者が希望する場合は、受発注者間で事前協議の上、電子納品対象とすることができる。

※1【報告書】

情報共有システムを利用する委託業務では、システムにより処理した業務書類を含む。

※2【オリジナル】

報告書を PDF 形式へ変換する前の各アプリケーションのオリジナルファイル形式（各アプリケーションで再編集が可能なファイル形式）。

※3【SXF(sfc 又は sfz)】

国土交通省等では、CAD データ交換フォーマットは原則として SXF（P21 形式：ISO 国際標準準拠）と定められているが、愛知県では、ファイルサイズの小さい SXF(sfc 又は sfz 形式)を使用する。

電子納品の対象範囲（工事）※1

納品対象物		ファイル形式等	対象範囲	適用する要領・基準名
施工段階 作成書類	工事打合簿 ^{※2}	PDF 及びオリジナル ファイル ^{※3}	○	国土交通省 工事完成図書の電子納品等要領 国土交通省 営繕工事電子納品要領 農林水産省 工事完成図書の電子納品要領(案)
	うち、施工計画書	PDF 及びオリジナル ファイル ^{※3}	○ ^{※4・7}	
	出来形管理資料（出来形図は除く）	PDF 及びオリジナル ファイル ^{※3}	○ ^{※5・7}	
	品質管理資料 ^{※6}	紙又は PDF	△ ^{※6・7}	
	出来形図 及び完成図	SXF(sfc 又は sfz) ^{※8}	○ ^{※9}	国土交通省 CAD 製図基準 国土交通省 営繕工事電子納品要領 農林水産省 電子化図面データの作成要領(案)
	工事写真 ^{※10}	JPEG や TIFF 等	○ ^{※11}	愛知県デジタル写真管理情報基準(案)
	地質データ	要領のとおり	▲	国土交通省 地質・土質調査成果電子納品要領 農林水産省 地質・土質調査成果電子納品要領(案)
	台帳データ	特記仕様書等のとおり	▲	国土交通省 工事完成図書の電子納品等要領 農林水産省 工事完成図書の電子納品要領(案)
	i-Construction 成果 情報化施工成果	要領等のとおり	▲	国土交通省 i-Construction 関連要領等 農林水産省 情報化施工技術の活用ガイドライン

（凡例）○：電子納品対象 ▲：契約図書に指定のある場合のみ

△：電子納品対象外（事前協議により電子納品対象とできる）

※1【情報共有システム利用時の電子納品対象物】

建築局、農業水産局及び農林基盤局の発注工事における電子納品の対象範囲は、情報共有システムの対応状況を踏まえて、特記仕様書等にて個別に指定する。

※2【工事打合簿】

建設局及び都市・交通局の発注工事では、段階確認報告書、施工状況把握報告書及び材料確認書を含む。

※3【工事打合簿、施工計画書、出来形管理資料】

添付書類は PDF 形式又は事前協議で認められたファイル形式とするが、必要に応じて PDF ファイルの作成元ファイル（オリジナルファイル）を含めることができる。

「愛知県情報共有運用ガイドライン」3-5-3（2）添付書類の取扱い

①添付書類は、原則として A4 又は A3 サイズの印刷を前提とした PDF 形式とする。事前協議において、PDF 形式以外のファイル形式を認めた場合は、この限りではない。

②発注者にて添付書類の加工等が必要な場合は、PDF ファイルの作成元ファイルを添付することができる。この場合、電子納品要領等に定められた共通形式（SFC、SFZ、JPEG 等）及び事前協議で認められた形式を用いること。

※4【施工計画書】

情報共有システムで提出した施工計画書は、「MEET」（打合せ簿）フォルダに格納してよい。

※5【出来形管理資料】

格納フォルダは「MEET」（打合せ簿）フォルダとする。

※6【品質管理資料】

事前協議により電子納品対象とする場合の格納フォルダは「MEET」（打合せ簿）フォルダとする。

※7【施工計画書・出来形管理資料・品質管理資料】

打合せ簿を付けず完了時に提出する書類は、システムの「提出書類」機能ではなく、「電子納品」機能を用いて「MEET」（打合せ簿）フォルダへ直接格納する。

※8【SXF(sfc 又は sfz)】

- ①国土交通省等では、原則として SXF（P21 又は P2Z 形式：ISO 国際標準準拠）と定めているが、愛知県では、ファイルサイズの小さい SXF(sfc 又は sfz 形式)を用いる。
- ②やむを得ない事情のある場合（発注図面が CAD 図面で提供されない場合等）は、監督員と協議の上、SXF 形式ではなく PDF 形式により納品することができる。
- ③出来形図及び完成図を PDF 形式で納品する場合の格納フォルダは「OTHRs」とする（CAD 製図基準に非準拠の図面若しくは SXF 形式以外の CAD 図面を納品する場合も同様）。

※9【完成図】

「出来形図及び完成図」のうち、完成図（工事完成図等）は特記仕様書等にて作成及び電子納品が指定された場合のみ対象とする。

※10【工事写真】

営繕工事電子納品要領を適用する場合は、監督員の指示に基づき、別途納品する。

※11【工事写真】

- ①着手前及び完成写真は、「工事完成図書」の電子納品等要領（国土交通省）」に基づき、REGISTER(台帳)フォルダの直下に格納する。ファイル名称は、それぞれ次のとおりとする。
着手前写真：PRE-PIC.JPG、 完成写真：POST-PIC.JPG
- ②工事管理項目の施設情報に記入する施設が複数ある場合は、施設情報の先頭に記入した施設の着手前写真ファイル及び完成写真ファイルを台帳フォルダに格納する。

(6) 電子納品の登録先フォルダ

納品物の標準的な登録先は、以下のとおりです。(監督員から指示があったときを除きます。)

施工関係様式

様式名	格納フォルダ	摘要
工事打合簿	MEET	
工事打合簿(条件変更確認請求関係)	MEET	
施工計画書	MEET	
施工体制台帳(参考)	MEET	
工事作業所災害防止協議会兼施工体系図(参考)	MEET	
支給品受領書	－	紙提出
支給品精算書	－	紙提出
段階確認・施工状況把握報告書	MEET	
品質証明書	－	紙提出
マニフェスト管理台帳	－	紙提出
材料確認報告書	MEET	
安全・訓練等の実施報告書(参考様式)	－	提出不要
安全巡視日誌(参考様式)	－	提出不要
工事記録	MEET	システムでの決裁は不要
現場発生品届	－	紙提出
事故発生報告書	－	紙提出
損害発生通知書	－	紙提出
創意工夫・社会性等に関する実施状況	MEET	システムでの決裁は不要

出来形・品質管理関係様式

様式名	格納フォルダ	摘要
工事完成図	DRAWINGF	PDF は OTHERS
出来形成果総括表	MEET	システムでの決裁は不要
測定結果総括表	MEET	システムでの決裁は不要
測定結果一覧表	MEET	システムでの決裁は不要
出来形(品質)管理図表	MEET	システムでの決裁は不要
度数表	MEET	システムでの決裁は不要
コンクリート配合試験成果表(Ⅰ)～(Ⅲ)	MEET	システムでの決裁は不要
コンクリート中の塩分測定表	MEET	システムでの決裁は不要
ひび割れ調査票(1)～(5)	MEET	システムでの決裁は不要
テストハンマーによる強度推定調査票(1)～(6)	MEET	システムでの決裁は不要
コンクリートの洗い分析試験結果	MEET	システムでの決裁は不要

くい打成績表	MEET	システムでの決裁は不要
場所打杭施工記録	MEET	システムでの決裁は不要
ハイテンボルト締付管理図	MEET	システムでの決裁は不要
現場キャリブレーション成績表	MEET	システムでの決裁は不要
塗膜厚測定管理表	MEET	システムでの決裁は不要
浸透探傷試験記録	MEET	システムでの決裁は不要
放射線透過試験記録	MEET	システムでの決裁は不要
鉄筋ガス圧接超音波探傷検査記録	MEET	システムでの決裁は不要
路床安定処理報告書	MEET	システムでの決裁は不要
プルーフローリング試験	MEET	システムでの決裁は不要
路面の平坦性試験	MEET	システムでの決裁は不要
土質試験結果一覧表	MEET	システムでの決裁は不要
コーン指数測定試験	MEET	システムでの決裁は不要
セメント安定処理試験	MEET	システムでの決裁は不要
現場密度測定試験	MEET	システムでの決裁は不要
現場飽和度・空気間ゲキ率測定試験	MEET	システムでの決裁は不要
骨材試験成績一覧表	MEET	システムでの決裁は不要
骨材（路盤）材料のフルイ分け試験	MEET	システムでの決裁は不要
粗骨材試験成績一覧表（砕石）	MEET	システムでの決裁は不要
細骨材〃（砂）	MEET	システムでの決裁は不要
石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表	MEET	システムでの決裁は不要
骨材粒度曲線表（アスファルト）	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト合材配合設定成果報告書	MEET	システムでの決裁は不要
同上目次	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト試験成績一覧表	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト粘度温度表	MEET	システムでの決裁は不要
骨材の推定変動範囲	MEET	システムでの決裁は不要
配合設計経過及び意見	MEET	システムでの決裁は不要
骨材比重による骨材配合比補正表	MEET	システムでの決裁は不要
骨材配合率及び合成粒度（室内試験）	MEET	システムでの決裁は不要
合成粒度曲線（室内試験）	MEET	システムでの決裁は不要
試験配合表	MEET	システムでの決裁は不要
理論最大密度	MEET	システムでの決裁は不要
マーシャル試験結果(1)(2)	MEET	システムでの決裁は不要
試験結果図表	MEET	システムでの決裁は不要
マーシャル試験によるアスファルト量の許容範囲および基準アスファルト量	MEET	システムでの決裁は不要

基準密度試験	MEET	システムでの決裁は不要
プラント試験練りによる決定配合	MEET	システムでの決裁は不要
決定配合粒度分布図	MEET	システムでの決裁は不要
決定配合プラント練りのマーシャル試験値	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルトの抽出試験	MEET	システムでの決裁は不要
フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト・骨材ならびにアスファルト混合物の加熱温度測定	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト混合物の数均時の温度測定	MEET	システムでの決裁は不要
グースアスファルト混合物の貫入試験	MEET	システムでの決裁は不要
グースアスファルト混合物のリュエル流動性試験	MEET	システムでの決裁は不要
ホイールトラッキング試験	MEET	システムでの決裁は不要
曲げ試験	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト舗装工事出来形（厚み）及び品質管理結果	MEET	システムでの決裁は不要
アスファルト合材配合設定総括表	MEET	システムでの決裁は不要
仕様及び基準値	MEET	システムでの決裁は不要
品質管理試験総括表……As 量抽出、粒度、マーシャル試験	MEET	システムでの決裁は不要
切取供試体試験	MEET	システムでの決裁は不要
品質記録保存業務（総括表、品質記録表）	MEET	システムでの決裁は不要